

北信濃里山シンポジウム

本州から消えたチョウ・飯山で発見!

期日 **5月22日(日)**

午後1時30分～4時30分

場所 **飯山市公民館 講堂**



入場無料・どなたでも自由に参加できます

開催趣旨

近年、生物多様性の保全の重要性が指摘されています。特に、豊かな多様性を有した農山村においては、ひとの生活様式の変化とともに環境も変わり、生物の多様性が失われつつあります。

このような状況の中で、本州から一時いなくなったと考えられていた里山のチョウ・オオルリシジミが飯山市に生息していることがわかりました。また、従来から飯山市では、黒岩山のギフチョウなど貴重な生物がいることが知られています。そこで、こうした里山の貴重な生物を紹介し、保全を考えながら、里山を子供たちともども楽しみ活用する方法を市民のみならずと一緒に考えていくために、「北信濃里山シンポジウム」を開催します。



黒岩山での環境全作業

開催内容

- (1) 開会 あいさつ 13:30
- (2) 趣旨説明 13:40 北信濃里山保全活用する会事務局 福本匡志
- (3) 基調講演 13:55～14:40 「北信濃の里山自慢ばなし」 信州大学准教授 井田秀行
- (4) 事例報告 14:40～15:20 国天然記念物「黒岩山」再生と生息するギフチョウ・ヒメギフチョウ
「黒岩山」保全協議会 田村湜城
絶滅危惧の蝶・オオルリシジミの長野県内での復活・保護活動について
信州大学教授 中村寛志
- (5) パネルディスカッション 15:30～16:20
コーディネーター 日本鱗翅学会理事 田下昌志
パネリスト 信州大学教授 中村寛志 信州大学准教授 井田秀行
松本市山と自然の博物館館長 丸山潔 長野県環境保全研究所 須賀丈
- (6) 北信濃里山保全活用する会設立と会員募集について 16:20～16:30
- (7) 閉会 16:30

主催 飯山市教育委員会 北信濃の里山を保全活用する会
共催 信州大学 飯山市黒岩山保全協議会
後援 長野県 日本鱗翅学会 NPO 日本チョウ類保全協会 信州昆虫学会 信濃毎日新聞社 北信タイムス 北信ローカル 北信濃新聞社 公益財団法人八十二文化財団 NHK長野放送局 SBC信越放送 NBS長野放送 TSBテレビ信州 a b n長野朝日放送 i ネット飯山 信越トレイルクラブ

お問合せ 飯山市公民館 電話 0269-62-3342